

秦野市特定健康診査・市民健康診査「検査項目の説明」

受診医療機関から「秦野市特定健康診査票」または「市民健康診査票」の写しが返却されましたら、以下をご参照ください。今回の特定健康診査は、メタボリックシンドロームの予防・解消を目的としていますので、「保健指導の基準値」に該当されますと、約3カ月後に保健指導のご案内をさせていただくことがあります。

番号	検査項目	標準値	保健指導基準値	検査の説明など
①	BMI	18.5～24.9	25以上	体格指数をあらわし、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)の計算で出します。低いとやせすぎ、高いと肥満とされています。
②	腹囲(cm)		男 85以上 女 90以上	体脂肪には皮下脂肪と内臓脂肪があり、内臓脂肪型肥満の判断基準になります。
③	血圧 収縮期(mmHg)	129以下	130以上	動脈にかかる圧で、高血圧は動脈硬化を進行させます。
④	血圧 拡張期(mmHg)	84以下	85以上	収縮期(最高)血圧:心臓が収縮した時 拡張期(最低)血圧:心臓が拡張した時 収縮期血圧100mmHg以下を低血圧といえます。
⑤	既往歴			
⑥	自覚症状			医師が別表を用いて記載する欄で、結果には影響しません。
⑦	他覚症状			
⑧	心電図			前年度の結果と医師の判断により、必要な場合に実施されます。結果は、医師が記号を用いて記載しています。
⑨	眼底検査			
⑩	メタボリックシンドロームの判定			システム上の数字です。最終的には、国民健康保険連合会により判定されます。
⑪	保健指導レベル			
⑫	医師の判断			受診先の医師による診断です。
⑬	尿糖	(-)		糖尿病発見の手がかりになりますが、尿糖が陽性でもすべてが糖尿病ではありません。
⑭	尿蛋白	(-)		腎臓や尿路系の異常で陽性となりますが、異常がなくても激しい運動等で反応することもあります。
⑮	中性脂肪(mg/dl)	30～149	150以上	体内にある脂肪の一種で身体のエネルギー源。多いと肥満や脂肪肝の原因となり、動脈硬化を進めます。
⑯	HDLコレステロール(mg/dl)	40～119	40未満	血管の内側に付着したコレステロールを肝臓に運んで、動脈硬化を予防する善玉コレステロールです。
⑰	LDLコレステロール(mg/dl)	60～119		細胞膜成分の材料であり、ホルモンを合成します。血液中に多すぎると血管に蓄積され、動脈硬化となります。
⑱	GOT[AST](U/l)	30以下		GOT・GPTは肝臓や心筋などにある酵素。
⑲	GPT[ALT](U/l)	30以下		これらの臓器が悪くなると増加します。
⑳	γ-GT[γ-GTP](U/l)	50以下		肝臓や胆道などに異常があると高値になり、アルコール性や薬物性の肝障害では特に上昇します。
㉑	空腹時血糖(mg/dl)	99以下	100以上	血液中のブドウ糖のことを血糖といい、膵臓から出るインスリンというホルモンによって濃度が保たれています。糖尿病で値が高く、食事の影響によって変動します。
㉒	HbA1c(%) (NGSP値)	5.5以下	5.6以上	赤血球中のヘモグロビンと血液中のブドウ糖が結合したものの。過去1～2か月間の血糖の状態が分かります。食事、運動、ストレスの影響をほとんど受けません。
㉓	ヘマトクリット値(%)	男38.5～48.9 女35.5～43.9		血液の成分のうち赤血球の量や割合を示します。これらが低下すると貧血が疑われます。
㉔	血色素量(g/dl)	男13.1～16.6 女12.1～14.6		ヘマトクリットは一定量の血液の中にどれくらいの割合で赤血球があるかを%で示しています。血色素量は赤血球に含まれている色素でヘモグロビンともいわれ、赤血球の中に含まれ、酸素を体中に送り、不用になった二酸化炭素を回収する働きをしています。
㉕	赤血球数(万/mm ³)	男400～539 女360～489		
㉖	血清クレアチニン(μg/dl)	男 1.0以下 女 0.7以下		体内でエネルギーとして使われたタンパク質の老廃物。腎臓の排泄機能に異常があると数値が高くなります。
㉗	血清尿酸(mg/dl)	7.0以下		新陳代謝の結果生じる老廃物。腎臓からうまく排泄されなかったり、プリン体を含む食品をとりすぎたりすると、数値が高くなり痛風や腎結石の原因になります。
㉘	尿潜血	(-)		腎臓・尿管・膀胱・尿道などの障害を見つけます。異常がなくても反応することもあります。
㉙	随時血糖(mg/dl)	139以下		食後約8時間以上空けずに受けた血糖の検査をいいます。